

令和5年度 決算の概要

令和6年7月

長岡医療と福祉の里
崇徳厚生事業団
社会福祉法人 長岡福祉協会

1 令和5年度の事業報告概要

- 令和5年度における当法人の事業を取り巻く環境について、収益においては新型コロナウイルス感染症が第5類に分類変更され、影響が徐々に沈静化していったこと等プラスの要因もあったが、消費者物価指数が前年度比2.8%の上昇となる等の費用増加要因もあった。
- こうした環境下において、電力契約の見直し等による経費の抑制に努めつつ、入所施設の空床期間短縮による稼働率の改善、稼働に応じた定員変更、人員配置の工夫による人財の効率的運用、ICT機器（インカムや記録システム等）の活用による運営効率化等により、収益基盤の強化に注力した。
- 法人全体で取り組んだ経営努力の結果、サービス活動収益は前年度比271百万円増収の13,822百万円となり、サービス活動費用は同239百万円増加の13,594百万円となった。経常増減差額は同19百万円増益の237百万円の黒字となったが、病棟改築に伴う旧病棟解体等による特別損失218百万円を計上したことにより当期活動増減差額は、前年度比133百万円減益の19百万円の黒字となった。
- なお、中長期的な観点から高齢事業に偏っている事業構成を改善すべく、新潟県内、首都圏において障害事業計2施設の事業管理者の指定を受け、令和6年4月1日からの稼働に備えている。

2 法人の事業展開

- 新潟県長岡市を中心に、小千谷市、燕市、三条市、魚沼市、三島郡、西蒲原郡、東京都港区、中央区、千葉県柏市、埼玉県和光市において事業を展開



3 法人の事業内容(1) 事業一覧

- 高年齢・障害・病院・保育・生活困窮者自立支援相談事業
および介護福祉士養成施設を展開

令和6年3月31日現在

事業内容		事業数
高齢者事業		104
施設サービス	介護老人福祉施設	3
	介護老人保健施設	3
居宅サービス	短期入所	9
	訪問看護・訪問介護	17
	その他居宅サービス（通所等）	18
地域密着型	地域密着型介護老人福祉施設	8
	小規模多機能型居宅介護	11
	看護小規模多機能型居宅介護	1
	定期巡回随時対応型介護看護	6
	その他地域密着型サービス（グループホーム、デイホーム等）	12
軽費老人ホーム		3
居宅介護支援		11
介護予防支援		2
障害児・者事業		104
医療型障害児入所施設		1
障害者支援施設		5
障害福祉サービス（就労支援・グループホーム等）		52
相談支援事業		19
その他障害福祉事業（地域生活支援事業等）		27
病院		1
医療提供施設		1
保育		1
病児保育事業		1
生活困窮者自立支援相談事業		1
長岡市パーソナルサポートセンター		1
介護福祉士養成施設		1
専門学校		1
合計		212

4 法人の事業内容(2) 施設一覧

(単位:百万円)

事業区分	施設名(略称)	拠点数	サービス活動収益
高齢者関係事業	こぶし園	19	3,251
	特養おぢやさくら	3	730
	サンプラザ長岡	1	708
	ぶんすい	1	590
	新橋さくらの園	1	668
	CSCつきしま	1	175
	CSC十思	1	285
	福祉プラザとよきだい	1	147
	新橋ばらの園	1	693
	SC広沢	1	88
	日本橋高齢者在宅サービスセンター	1	79
	小計	31	7,414
障害福祉関係事業	桐樹園	1	382
	桜花園	3	532
	うまたかの里	3	239
	リハビリセンター王見台	1	408
	北部ワークセンター	3	183
	南部ワークセンター	4	268
	はつらつ太陽	3	578
	コロニーにいがた白岩の里(準備室)	1	10
	小計	19	2,600
長岡療育園	長岡療育園	3	2,408
小千谷さくら病院	小千谷さくら病院	1	1,306
病児保育事業	すとく	1	12
生活困窮者自立支援相談事業	長岡市PSC	1	48
長岡崇徳福祉専門学校	長岡崇徳福祉専門学校	1	29
本部事務局	本部事務局	1	4
首都圏事業部事務局	首都圏事業部事務局	1	1
合計	59	13,822	

※施設名は略称を使用

5 事業収支

- コロナ感染症の第5類への分類変更等を受け、稼働率の向上に努める一方、光熱費を抑える施策等により、経常収支は前年度比増収・増益となったが、病院改築に伴う旧病棟解体費用による特別損失発生により当期活動増減差額は19百万円の黒字にとどまった。

(単位:百万円)

	4年度	5年度	前年度比
サービス活動収益	13,551	13,822	271
サービス活動費用	13,355	13,594	239
人件費	9,395	9,484	89
事業費・事務費	3,381	3,467	86
減価償却費	736	785	49
国庫補助金取崩	▲ 237	▲ 224	13
サービス活動増減差額	195	228	33
経常増減差額	218	237	19
当期活動増減差額	152	19	▲ 133
借入金残高(外部)	3,355	4,085	730

稼働率の改善等により、首都圏高齢事業をはじめとしてほとんどの地域・事業で前年度比増収となった。

事業費・事務費の増加率(2.5%)は物価上昇率(2.8%)を下回る水準に留まった。

経常増減差額率は前年度の1.6%から1.7%へ上昇した。

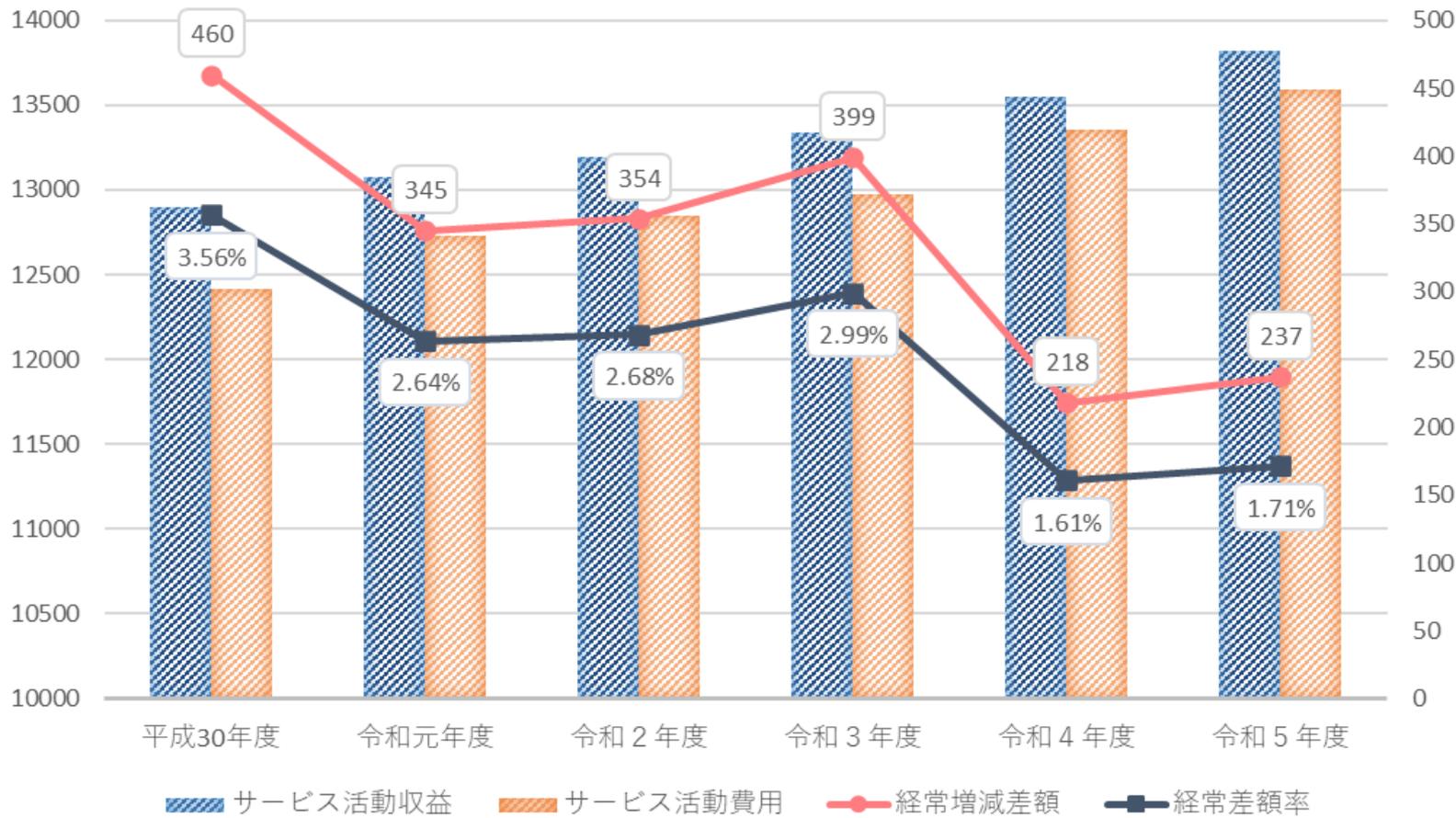
小千谷さくら病院旧病棟解体工事等による特別損失218百万円を計上した。

小千谷さくら病院改築工事費および本部運転資金調達のため前年度比730百万円増加した。

6 収支状況の推移

- 平成30年以降の収支状況の推移は以下の通り。
収益・費用は遡増しているが、令和4年度以降は、物価上昇による費用増加等により、経常増減差額率は低下している。

(単位：百万円)

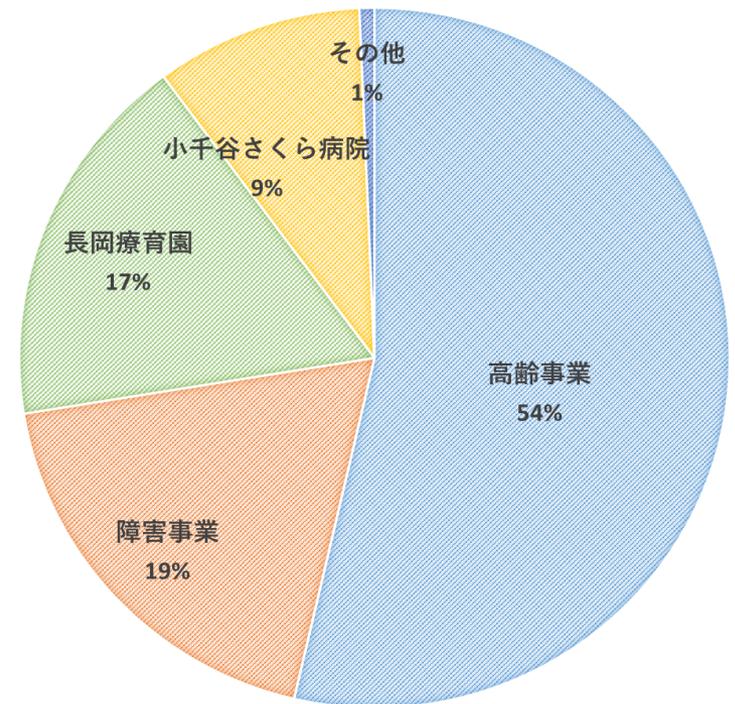


7 サービス収益(収入の事業別内訳)

- 稼働率向上に努めた結果、ほぼ全事業で前年度比増収となり、法人全体では前年度比271百万円増収の13,822百万円の収益を計上した。

(単位：百万円)

	4年度	5年度	前年度比	増減率
高齢事業	7,265	7,414	149	2.05%
障害事業	2,581	2,600	19	0.74%
長岡療育園	2,347	2,408	61	2.60%
小千谷さくら病院	1,265	1,306	41	3.24%
すとか	10	12	2	20.00%
長岡市PSC	48	48	0	
専門学校	30	29	▲1	▲3.33%
首都圏事務局	1	1	0	
本部	4	4	0	
合計	13,551	13,822	271	2.00%

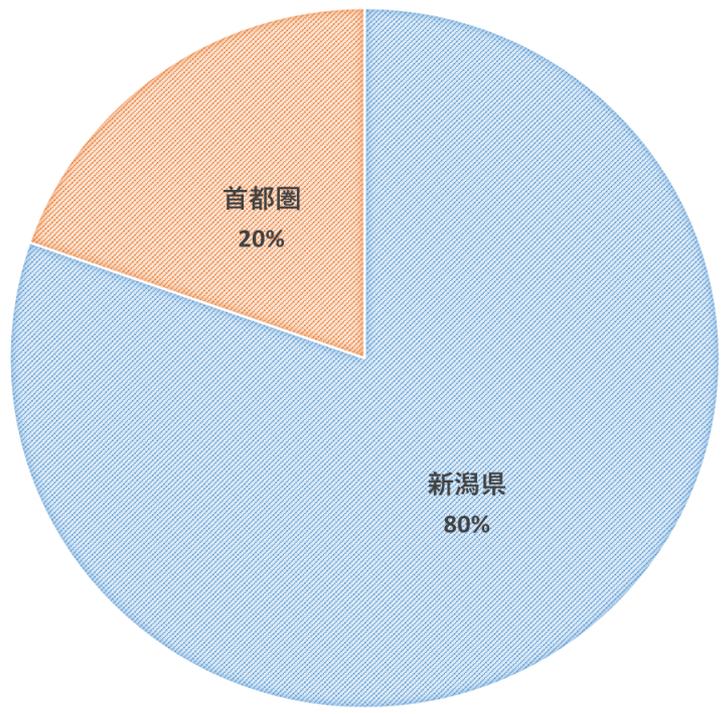


8 サービス収益(地区・事業別内訳)

- 新潟県内、首都圏ともに、ほとんどの事業で前年度比増収となり、法人全体では前年度比2.0%の増収となった。

(単位：百万円)

	4年度	5年度	前年度比	増減率
新潟県内	10,959	11,108	149	1.36%
高齢事業	5,232	5,279	47	0.90%
障害事業	2,023	2,022	▲1	▲0.05%
長岡療育園	2,347	2,408	61	2.60%
小千谷さくら病院	1,265	1,306	41	3.24%
すとか	10	12	2	20.00%
専門学校	30	29	▲1	▲3.33%
長岡市PSC	48	48	0	
本部	4	4	0	
首都圏	2,592	2,714	122	4.71%
高齢事業	2,033	2,135	102	5.02%
障害事業	558	578	20	3.58%
首都圏事務局	1	1	0	
合計	13,551	13,822	271	2.00%

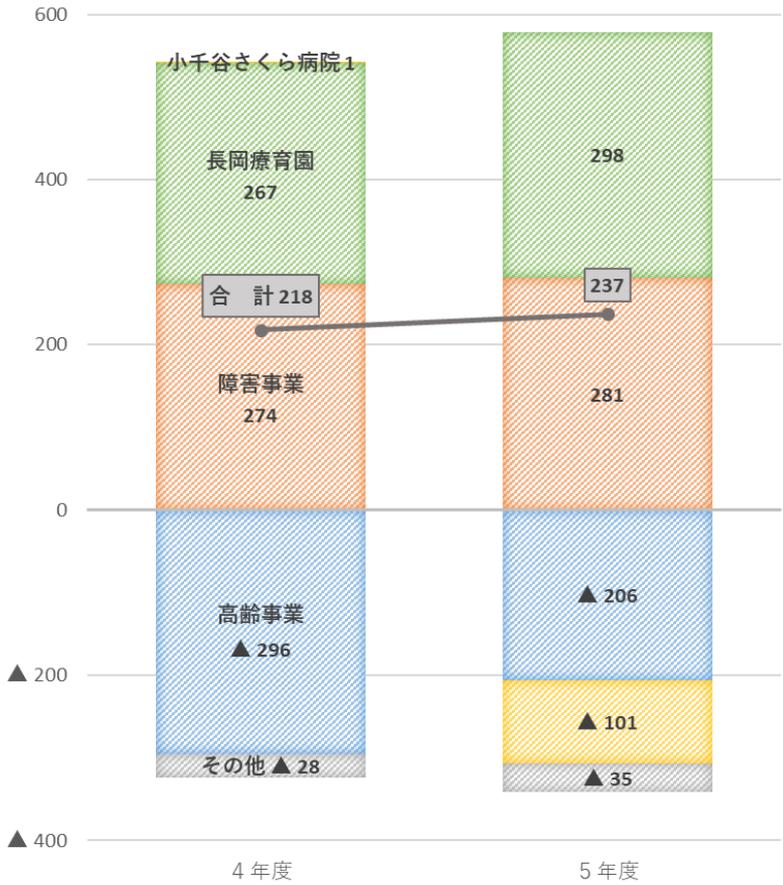


9 経常増減差額

- 小千谷さくら病院は改築に伴う費用増加により101百万円の赤字となったが、他の事業は前年度比で概ね横ばいから増益となり、法人全体では237百万円の黒字となった。

(単位：百万円)

	4年度	5年度	前年度比
高齢事業	▲ 296	▲ 206	90
障害事業	274	281	7
長岡療育園	267	298	31
小千谷さくら病院	1	▲ 101	▲ 102
す と く	▲ 11	▲ 9	2
長岡市PSC	0	0	
専門学校	▲ 27	▲ 35	▲ 8
本部	10	9	▲ 1
合計	218	237	19



10 職員数と人件費

	4年度			5年度			前年度比		
	職員数 (人)	人件費 (百万円)	人件費率 (%)	職員数 (人)	人件費 (百万円)	人件費率 (%)	職員数 (人)	人件費 (百万円)	人件費率 (%)
高齢事業	1,086	5,135	70.68%	1,076	5,252	68.70%	▲ 10	117	▲1.98%
障害事業	378	1,636	63.38%	370	1,598	63.60%	▲ 8	▲ 38	0.22%
長岡療育園	285	1,501	63.95%	288	1,508	62.60%	3	7	▲1.35%
小千谷さくら病院	141	858	67.82%	142	867	66.50%	1	9	▲1.32%
すとか	4	16		4	16		0	0	
長岡市PSC	10	40		10	40		0	0	
専門学校	8	33		8	42		0	9	
本部	27	161		26	161		▲ 1	0	
合計	1,939	9,380	69.21%	1,924	9,484	68.50%	▲ 15	104	▲0.71%

* 職員数: 年度末時点の常勤換算数

* 人件費率: 人件費/サービス活動収益

11 今後の主要な課題

- 法人を取り巻く環境について

介護等の福祉サービスの担い手が急減する人口減少社会、複雑化・多様化する福祉ニーズ、感染症等の非常時の事業継続性、物価高騰による費用の増大など、社会福祉法人を取り巻く環境は厳しくなっている。

これからの社会福祉法人には、継続的かつ安定したサービス提供のために経営基盤を強化することが求められている。

- 経営基盤の強化に向けて

中期的に、経営改善に取り組んでいるこぶし園と首都圏事業部では、首都圏の高齢施設に顕著な収支改善が見られた一方、成果の結実・定着にはなお一層の創意工夫が必要な状況にある。

他施設においても稼働率・加算取得や人員配置など「運営・経営情報の共有化」を推進し、運営内容の精査に取り組む必要がある。

また、地域ニーズに合わせた事業展開や、事業団のスケールメリットを活かして分野・法人を超えた包括的連携による経営基盤の強化を図るとともに、人財の確保・定着・育成に向けた取り組みと、働きやすい職場環境の整備、ICTやDXの推進による生産性向上に注力する必要がある。

12 課題への対応(中期的な計画)

法人理念

自分や家族、友人が利用したいと思うサービスの提供

基本方針	4本の柱
総合的な経営力の向上を図り 地域共生社会を推進する	地域ニーズに合わせた事業展開
	将来を担う人財の育成
	職員が安心して働くことのできる職場環境の整備
	ICT・DX推進によるサービスの質と生産性の向上

事業	<p>事業の再構築・再編 業務の質向上・効率化</p> <p>法人として注力すべき事業の検討 地域ニーズ・収益性等の分析による事業の見直し ご利用者のニーズに応じたサービスの質の向上 ICT・DX推進による業務改善</p> 
経営	<p>安定的な経営 経営・運営状況の共有化</p> <p>ICT・DX推進によるデータ活用と分析 経営状況の共有化と精緻な把握・分析 建物および設備の修繕計画策定と予算管理 BCPの継続的な点検によるリスク管理</p> 
人財	<p>採用と育成 インナーブランディング</p> <p>高齢者や障害者、外国人等を含めた多様な人財の登用 積極的なPRによるブランド力向上 適切な広報媒体の活用による採用力向上 キャリア形成や能力開発に向けた教育の充実 次世代の業務スタイルを支える人財の育成</p> 
制度	<p>働きがいのある職場環境 変化する社会情勢への対応</p> <p>時代に合わせた柔軟な人事制度の構築 多様な働き方・魅力のある職場環境づくり 労働災害・ハラスメントの防止と対応の強化 環境への配慮と経費削減の推進</p> 
連携	<p>複雑化する社会環境への対応 地域社会を支える柱</p> <p>地域との連携活動の再開と推進 分野を超え、地域も巻き込んだ連携・協働の強化 崇徳厚生事業団連携の強化</p> 

13 崇徳厚生事業団の構成

- 長岡福祉協会を含む8法人で構成され、同一理念のもとに地域包括ケアを推進。

基本理念「自分や家族、友人が利用したいと思うサービスの提供」



崇徳厚生事業団のHPはこちら

崇徳厚生事業団

SUTOKU
Health & Welfare Association
崇徳厚生事業団
長岡医療と福祉の里グループ

<https://sutokukosei.com/>